（中国乙12）

細菌性・アメーバ性赤痢発生推移

＝ 2023年04月度 ＝

発表：2023年05月25日 環球時報

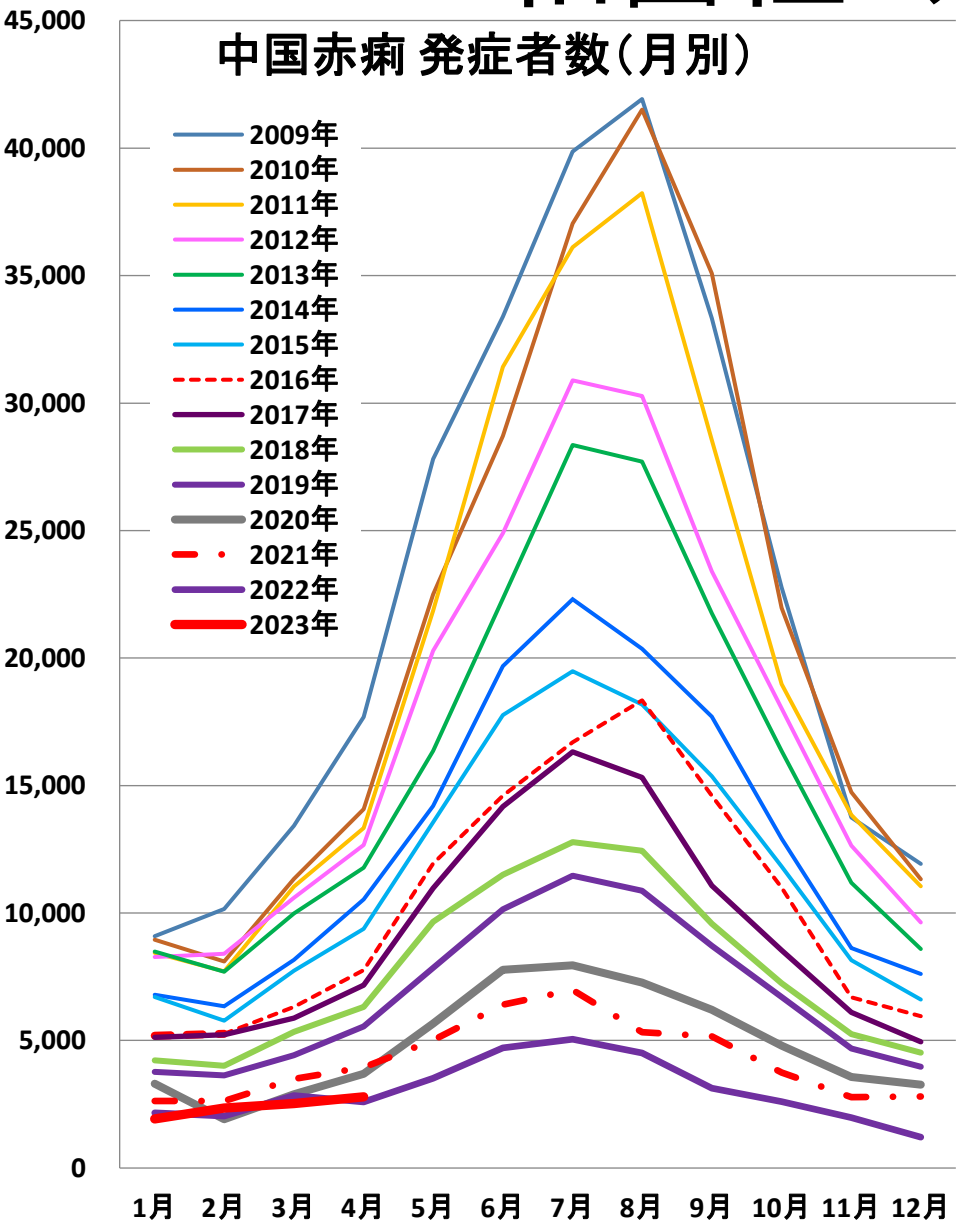
作成：2023年05月28日
日中医療衛生情報研究所

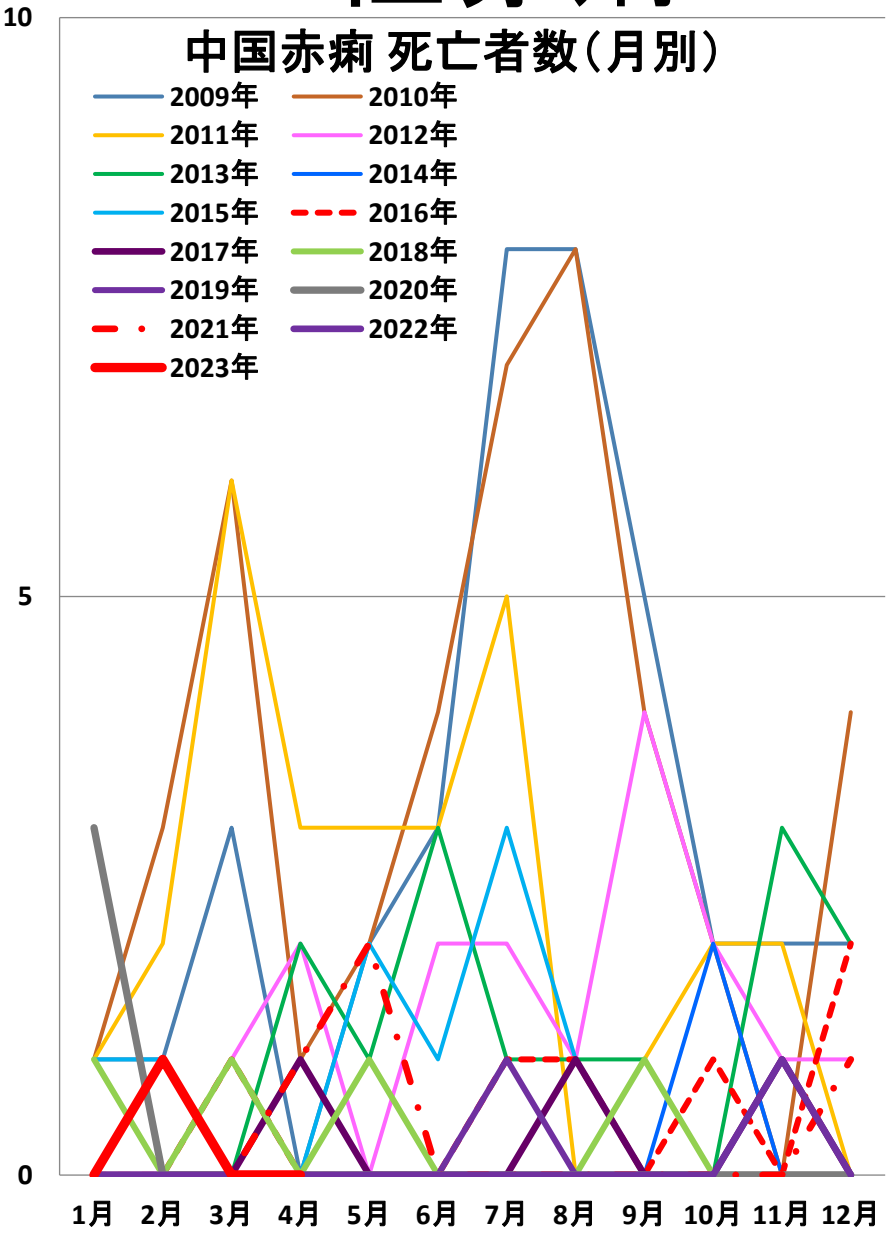
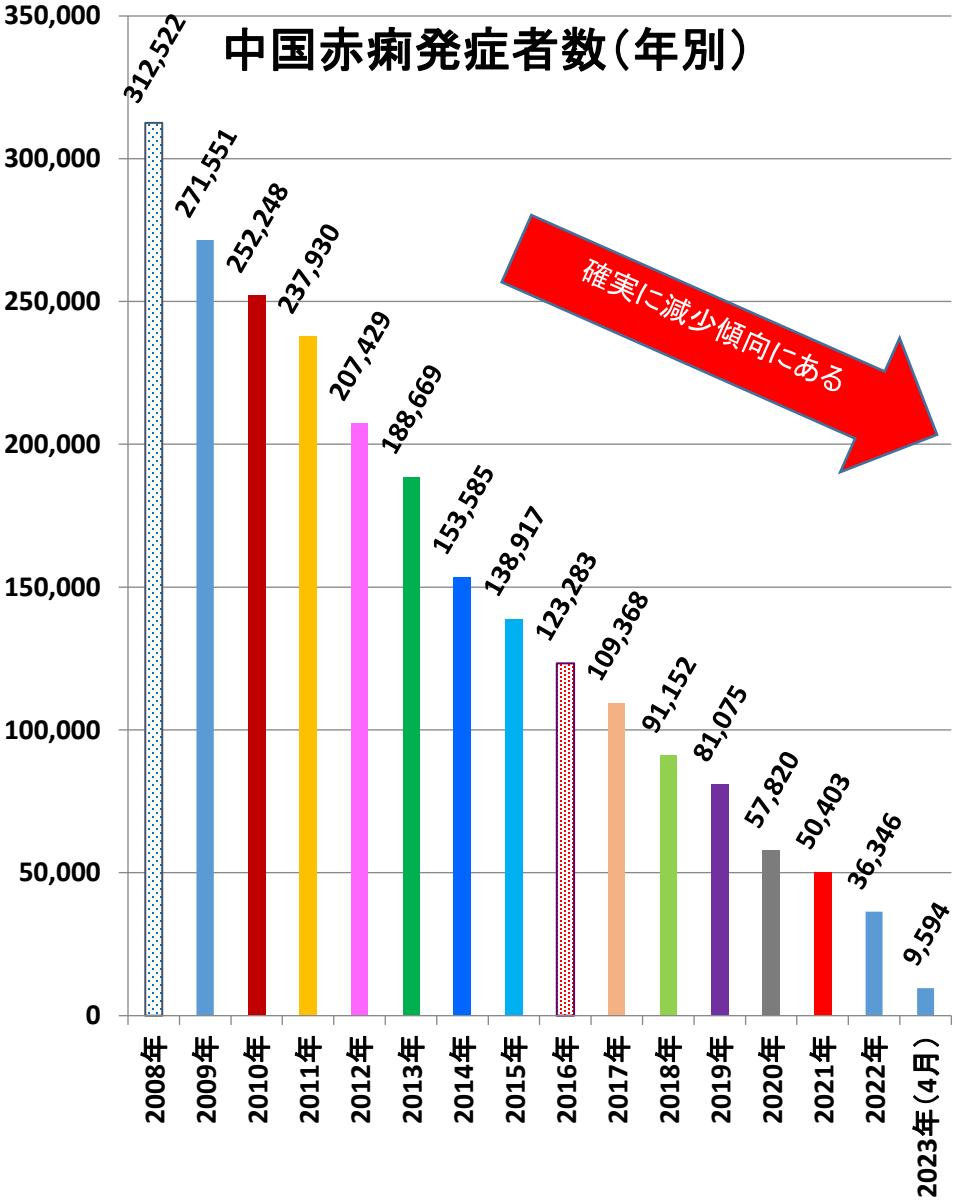
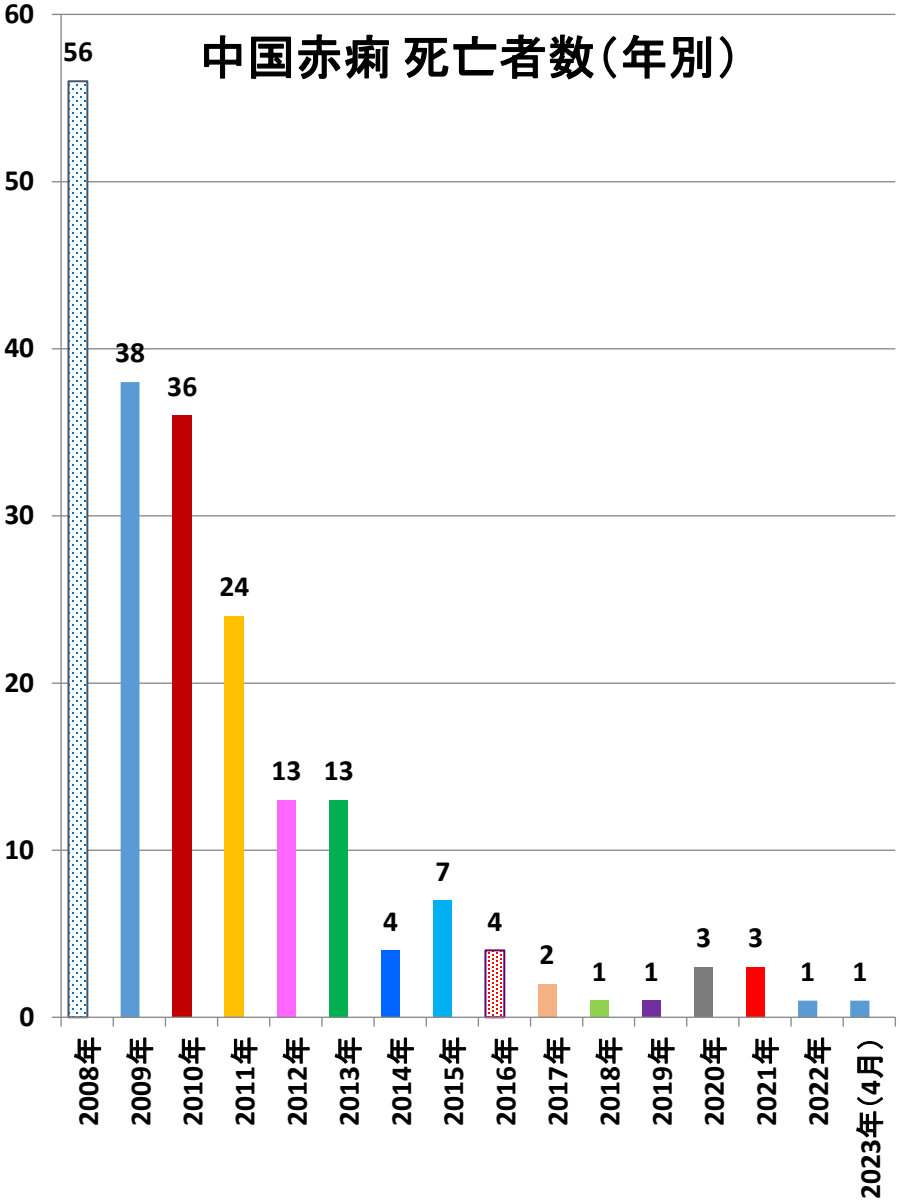
細菌性･アメーバ性赤痢

- 患者発生のピーク期は夏場の７～９月

- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、
  2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で
  月間発症者数の『過去最低記録』を更新した。
  その後、2021年5月からまた過去最低記録を更新中
  2015年は、138,917人、
  2016年は、123,283人、
  2017年は、109,368人、
  2018年は、 91,152人、
  2019年は、 81,075人、
  2020年は、 57,820人（コロナの影響？ ）
  2021年は、 50,403人、
  2022年は、 36,346人（速報ベース）だった。

乙12：細菌性･アメーバ性赤痢





乙12：細菌性･アメーバ性赤痢